

5-6. 高根地域

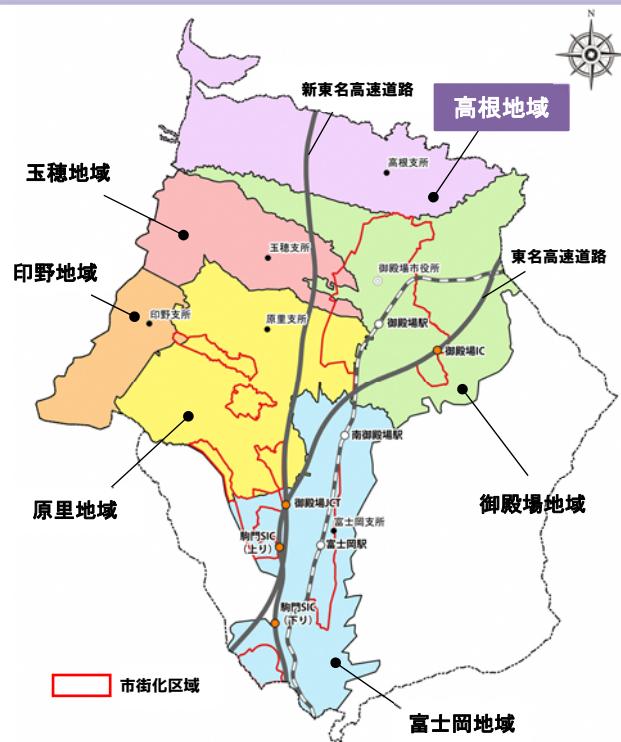
(1) 高根地域の現況

①地域の概況

本地域は、市の北部に位置し、地域の全域が市街化調整区域に指定されています。地域拠点である高根支所周辺には、学校施設や生活サービス施設、住宅などが立地しています。

また、主な地域資源として、高根地区の田園風景やふれあい広場などがあります。

さらに、地域中央部において、令和2年度（2020年度）に新東名高速道路が開通する予定です。



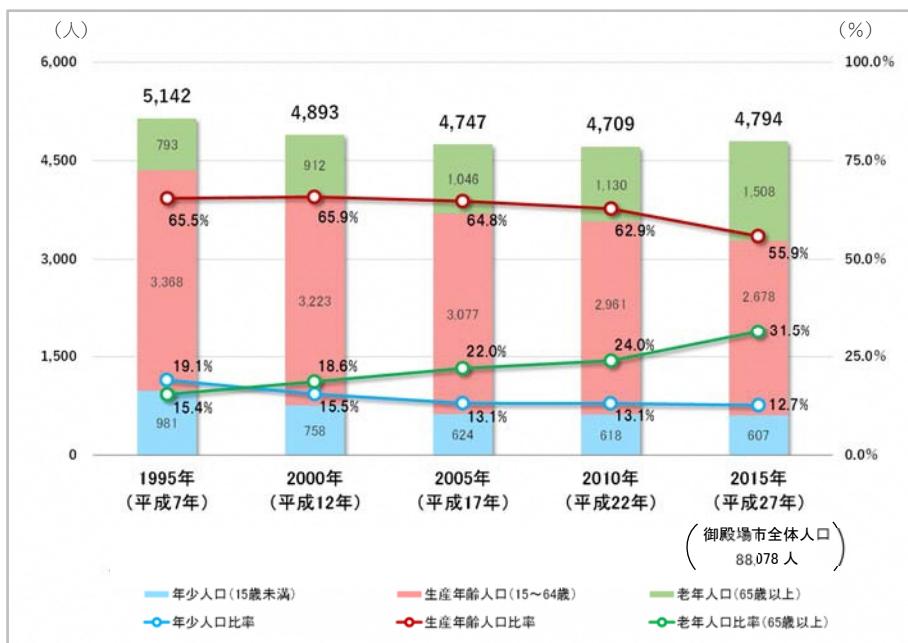
②地域の人口

地域人口は、平成27年（2015年）時点で4,794人であり、市全体の約5%を占めています。

また、地域の高齢化率は、平成27年（2015年）時点で31.5%と市平均（23.2%）より高く、徐々に増加しています。

今後も、将来的な地域の人口減少・高齢化の進行が予測されます。

＜高根地域の人口推移＞



【出典】各年国勢調査(総務省統計局)

③地域の法規制状況

地域全域が市街化調整区域に指定されており、地域の中央部から東部にかけて、農用地区域を指定しています。

＜高根地域の法規制状況図＞

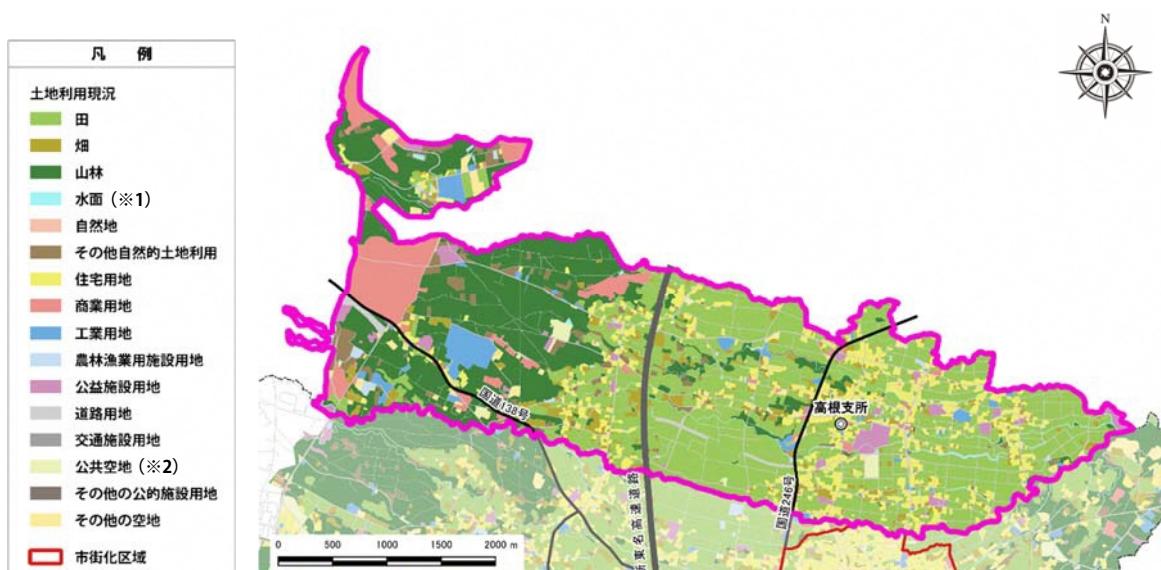


④地域の土地利用状況

地域の大部分を農地が占め、高根支所周辺などに集落地が形成されています。

また、地域西部には富士山麓の豊かな山林やゴルフ場などの商業用地がみられます。

＜高根地域の土地利用状況図＞



(※1)河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面

(※2)公園・緑地、広場、運動場、墓園

⑤地域の都市計画事業等の実施状況

高根支所の南側において農業集落排水事業が実施されています。

また、都市計画道路が9路線指定されています。

＜主要な都市施設等の整備状況＞

都市施設	施設名称等		
都市計画道路	・第二東名自動車道 ・高根西部幹線 ・茱萸沢上小林線	・御殿場須走線 ・東部幹線 ・清後山之尻線	・御殿場高根線 ・高根富士岡線 ・永原高根線
河 川 (1級・2級 河川を記載)	・竜良川 ・立沢川	・つつじ川	・馬伏川

【出典】平成27年度・平成28年度都市計画基礎調査(静岡県)
2020御殿場市の都市計画

⑥地域の都市機能立地状況及び公共交通の運行状況

地域拠点である高根支所周辺において公共公益施設が集積しています。

また、地域の南北方向などに路線バスネットワークが形成されています。

＜高根地域の都市施設・都市機能の分布図＞



【出典】厚生労働省 HP、静岡県 HP、御殿場市 HP、全国スーパー・マーケットマップ、コンビニマップ、日本全国ドラッグストア・調剤薬局マップ、NTT 電話帳、市保有資料

⑦地域の空き家等の立地状況

地域内の幹線道路周辺において、17件の空き家がみられます。

【出典】御殿場市空家等対策計画(平成31年3月)

⑧地域の災害関連法の指定状況

竜良川沿岸において、土石流危険区域、土石流危険渓流が指定されています。

＜高根地域の災害関連法の指定状況図＞



【出典】静岡県GIS/静岡県統合基盤地理情報システム

⑨地域資源の立地状況

主な地域資源として、高根地域の田園風景や高根西ふれあい広場などが立地しています。

また、景観整備重点地区として、国道138号等沿道地区を指定しており、沿道の個性ある景観形成に取り組んでいます。

＜高根地域の主な地域資源＞

写真	写真
photo	photo
写真	写真
photo	photo

(2) 高根地域の想い

①「まちづくりアンケート調査」の結果・主な意見

◆将来のまちのイメージについて

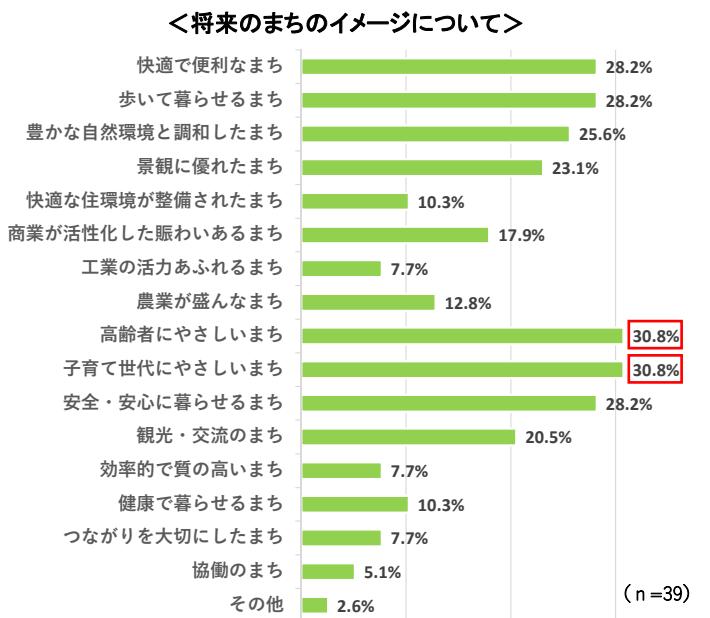
- 将来のまちのイメージとして、「高齢者にやさしいまち」、「子育て世代にやさしいまち」などが求められています。

◆地域拠点に必要な施設について

- 高根支所周辺では、「医療施設」や「ショッピングセンター」などの立地が求められている一方、「今まで良い」といった意見も出ています。

◆必要な都市環境整備について

- 本地域では、以下の都市環境整備が求められています。



分 野	地域が求めるもの		
	1 位	2 位	3 位
道 路	安全な歩道の整備 (41.0%)	幅員の狭い生活道路 の整備・改善 (30.8%)	幹線道路の渋滞対策 (25.6%) 電線の地中化など 安全な道路環境の整備 (25.6%)
公園・緑地	災害時の活動拠点となる公園の整備 (38.5%) 自然を満喫できる公園の整備 (38.5%) 積極的な公園用地の活用・促進 (38.5%)		
河川・水路	自然豊かな水辺環境の整備 (38.5%) 水辺に親しめる空間や遊歩道の整備 (38.5%) 災害に強い河川・水路の整備 (38.5%)		
防 災	避難所や防災活動拠点や 住宅の不燃化・耐震化 (38.5%)	一次避難地や避難活動拠点の整備 (28.2%) 電線の地中化など災害に強い道路整備 (28.2%)	
景 觀	自然・文化・歴史資源を 活かした景観形成 (69.2%)	河川・農地など自然環境 に配慮した景観形成 (51.3%)	電線地中化など 沿道景観の向上 (33.3%)
觀 光	新たな観光商品の開発 (48.7%)	観光地や観光施設 の整備・保全 (43.6%)	道路網や 交通ネットワークの整備 (41.0%)

(n=39)

②「地域別意見交換会」での主な意見

本地域の意見交換会では、以下の意見などが出されました。

生 活 (暮らし)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の高齢化、コミュニティの希薄化が課題 ・地域の若返り、若い人材の活用促進が必要 ・交通弱者に対応した交通対策が必要
産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域が指定されており、農業環境はとても良い ・地産地消ができるような環境整備が必要 ・農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻 ・農地を保全していくために、法人化するなどの検討が必要 ・農産物のブランド化が必要
観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場を中心とした自然体験・交流の場を増やす ・既存施設を活用した地域イベントの開催
自然・景観	<ul style="list-style-type: none"> ・優良田園風景の保全 ・富士山の景観や水資源・河川環境の保全
防 災	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山噴火への事前の対策が必要 ・防災教育の充実 ・地域内での災害ハザードエリアの周知徹底が必要

「地域の現況」や「地域の想い」を踏まえ

(3) 高根地域のまちづくりの課題

「地域の現況」や「地域の想い」を踏まえ、地域のまちづくりの課題を以下のとおり整理しました。

生 活 (暮らし)	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少・高齢化社会でも安心して暮らすことができる生活環境の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・高根支所周辺の既存集落地における生活利便性の維持・確保 ・高齢者や子育て世代など、誰もが安全・安心に移動できる生活交通の維持・確保 ・既存集落地の空き地・空き家の有効活用・優良田園住宅制度の運用による移住・定住の促進 ●都市インフラ（道路・公園・河川など）の適切な整備・維持管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・高根支所周辺の生活道路の安全性向上 ・公園・緑地の適切な維持管理と利活用の促進
産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ●優良農地の保全・農業の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に広がる優良農地の保全、農業の活性化
観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> ●観光・交流資源の維持・保全・機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場などの既存の交流・レクリエーション施設の機能強化
自然・景観	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな山林・農地環境の維持・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・富士山の山林や優良農地、河川環境の保全 ●富士山の景観・眺望の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・国道138号など、幹線道路沿道における富士山の眺望の確保 ・地域の原風景である広大な農地（田園）景観の保全
防 災	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の防災力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・富士山噴火や大規模地震、集中豪雨など自然災害への事前対策の強化 ・地域の防災力向上、地域住民の防災意識の向上

(4) 高根地域のまちづくりの方針

«高根地域のまちづくりの目指す姿»

本市を代表する穀倉地帯として、豊かな自然環境や優良な農業環境の維持・保全を図るとともに、地域拠点である高根支所周辺の居住性の向上や新東名高速道路（仮称）御殿場 IC^(※1) を結ぶ道路ネットワークの強化を図り、潤いある田園環境と緑豊かな住環境が調和したまちづくりを目指します。

■生活（暮らし）に関するまちづくり方針

■ 富士山麓で育む、潤いとやすらぎのある集落環境の形成

- 地域拠点である高根支所周辺などのふるさと・生活ゾーンでは、生活道路の整備・改善や、日常生活を支える商業・サービス施設の維持・充実、地域コミュニティの強化を図り、自然環境や農業環境と調和したゆとりある集落地としての生活環境の形成を図ります。
- 地域の大部分を占める農地環境ゾーンでは、一団の優良農地を適切に保全し、潤いとやすらぎのある集落環境の維持に努めます。
- 移住・定住の促進に向けて、空き地・空き家の有効活用の促進や地区計画、優良田園住宅制度などの開発許可制度の適切な運用を図り、秩序ある土地利用を推進します。

■ 豊かな地域の暮らしを支える都市基盤の形成

- 地域内外の円滑な移動を支える都市計画道路などの幹線道路は、適切な整備と維持管理を促進します。また、既存集落地や公共公益施設周辺の生活道路は、地域住民などが安全に通行できる道路環境の形成を図ります。
- 地域の高齢者や障がい者、子育て世代など、誰もが安全・安心に移動できる生活交通の確保に向けて、「地域公共交通網形成計画」を踏まえた既存路線バスの維持・充実を図るほか、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した公共交通の導入を推進します。
- 地域の公園・緑地について、地域のニーズに沿った機能の充実を図ります。また、「公園施設長寿命化計画」に基づいた計画的な予防保全に取り組むほか、地域住民との協働による適切な利活用と維持管理を促進します。

■産業・雇用に関するまちづくり方針

■ 優良な農地環境の保全と農業の活性化

- 農地環境ゾーンでは、安定的な農業生産の確保に向けて、一団の優良農地の適切な維持・保全や農地の集約化、農業生産基盤の整備を推進します。
- 農業地域の活性化に向けて、地域の実情を踏まえ、遊休農地の活用促進や新たな担い手の確保、振興作物の生産拡大に取り組むとともに、農産物の高付加価値化、新技術を活用したスマート農業の推進を目指します。
- 新東名高速道路（仮称）御殿場 IC に近接する環境を活かし、遊休農地を活用した市民農園や体験型農園など、市民や来街者が気軽に農業に親しむことができる環境の創出を図ります。

(※1) 立体交差する道路相互間、または近接する道路相互間を連絡路によって立体的に接続する施設

■観光・交流に関するまちづくり方針

■地域資源の磨き上げによる地域の観光・交流機能の強化

- 観光・交流ゾーンに広がる富士山麓の山林は、自然を体験できる観光・レクリエーション資源として有効な活用を促進します。
- ふれあい広場は、地域住民との連携のもと、地域の交流・憩いの場としての機能強化を推進します。
- 加藤学園御殿場キャンパスについては、最先端技術を活用した教育普及活動の場として、適切な土地利用の誘導を図ります。

■自然・景観に関するまちづくり方針

■富士山に抱かれる雄大な自然環境の保全

- 地域西部に広がる富士山麓の山林は、水源涵養機能や土砂災害防止機能など様々な機能を有していることから、間伐や樹種転換により、適切な維持・保全を図ります。
- 農地環境ゾーンに位置する優良農地や地域を流れる河川は、生態系の保全や親水機能、景観形成、防災機能などの多面的な役割を有することから、適切な維持・保全を図ります。

■富士山を背景とした魅力ある景観の形成

- 景観整備重点地区である国道138号等沿道地区や国道246号、団地間連絡道路の沿道では、富士山の眺望に配慮した魅力ある景観形成を図ります。
- ほ場整備による広大な農地（田園）景観は、地域の特有の風景として、適切な維持・保全に努めます。

■防災に関するまちづくり方針

■地域の価値を高め、安全な暮らしを育む地域環境の形成

- 既存集落地などの住宅地域においては、住宅の耐震化を推進します。また、倒壊のおそれのあるブロック塀等の改善などによる地域の防災力の向上を図ります。
- 災害時の一次避難所や防災拠点となる施設などについて、地域防災機能の定期的な維持管理を図ります。
- 地域住民への災害発生の危険性や避難に関する情報、防災マップや各種ハザードマップの周知を徹底するとともに、地域主体による定期的な防災活動の実施を推進し、地域住民の防災意識の向上を図ります。



«高根地域のまちづくり構想図»

